



博物館だより

Vol.206 2012.6

# ミニミニマインズ

## 鉱業博物館 開催イベント情報

平成24年

7月31日(火)

平成24年度第3回市民開放講座

世界第1位の地熱資源大国インドネシアの  
地熱発電急成長への戦略・地中熱利用冷房の研究

—地熱システム,開発方針,政策等の日本との比較・省エネ冷房への取り組み—

市民開放講座は、入館・聴講ともに無料、事前連絡なしでどなたでもご聴講いただけます。  
どうぞお気軽にご参加ください。

- 日時 7月31日(火) 15:00～16:30
- 場所 鉱業博物館3階講堂
- 講師 プリハディ・スミンタディレジャ博士〈インドネシアバンドン工科大学准教授〉  
高島 勲 鉱業博物館研究員〈秋田大学名誉教授〉

平成24年

8月2日(木)

8月3日(金)

ジュニアサイエンススクール

地球の神秘を探しに行こう!

自分の手で鉱物を採集して、オリジナルの標本を作ってみよう！  
水晶・黄銅鉱などを採集できるよ！夏休みの自由研究に使えるかも！？

### ●日程・内容

- |                  |                                 |
|------------------|---------------------------------|
| 1日目<br>(8月2日(木)) | 鉱物採集<br>8:30に集合し<br>バスでフィールドへ移動 |
| 2日目<br>(8月3日(金)) | 標本整理・学習会<br>鉱業博物館3階講堂           |

- 対象 小学校6年生
- 募集人数 20名程度
- 参加費 無料(昼食だけ持参してください)
- 講師 緒方武幸〈秋田大学国際資源学教育研究センター教員〉  
西川 治〈秋田大学附属鉱業博物館専任教員〉

### ●申込み

電話のみの受付となります。

7月5日(木)～7月11日(水)〈土・日を除く〉

上記の間に鉱業博物館事務室(018-889-2461)へ  
ご連絡ください。

受付は10:30～16:00の間です。

先着順に参加決定しますので、  
お早めにお申し込みください!

※参加決定者には後日詳細をお知らせいたします※

## 無料開放日のお知らせ

7月28日(土)

秋田大学工学資源学研究科オープンキャンパスにあわせて  
当館を無料開放いたします。「秘蔵出し絵画・写真展」の  
特別展示も開催中ですので、ぜひお越しください。

平成24年度  
第2回鉱業博物館特別展

「秘蔵蔵出し絵画・写真展」



鉱業博物館に所蔵されている絵画や写真を一同に展示しています。角館町出身の画家寺澤孝太郎が描いた『小坂鉱山製錬所』や、大正2年の開学当時から現在までを写真で巡った写真展、秋田大学第二代学長渡辺萬次郎による校舎や大学の周りの風景のスケッチ画など、秋田県や秋田大学の変遷、発展の経過を見てとることができる貴重な資料の数々が盛りだくさんです。

ぜひ足を運んでみてください。



展示期間 平成24年6月11日（月）～ 8月5日（日）

9:00～16:00

会場 鉱業博物館 2階特別展示室

宝石展示コーナーが  
生まれ変わります！

現在、秋田大学の博物館実習生達が、1F“鉱物”フロア内 宝石コーナーの展示のリニューアルに取り組んでいます。例えば宝石を硬度の順で並び替える、宝石とその原石を対比させて展示する等、美しい宝石がより魅力的に展示されるように、さらに鉱物学的な特性もわかるように工夫しました。



▲ 宝石にみとれる実習生



▲ 宝石の並びを検討する実習生

また、展示ケース内の色調や台座の形等のデザインを検討したり、宝石の並びの調整をしたりと小さな宝石でも美しく見えるように仕上げの作業を進めています。7月中には展示が完成しますので、お越しの際はぜひ1Fの宝石コーナーにも注目してみてください。

●○雑誌掲載・CMのお知らせ●○

雑誌掲載情報

- ◇DeAGOSTINI(ディアゴスティーニ)  
「世界の鉱物コレクション」 No.119 7月17日発売
- ◇ゆらら vol.8 (秋田市街歩き観光ガイド)  
6月下旬発刊
- ◇rakra(ラ・クラ) (北東北エリアマガジン)  
6月25日発刊

以上3誌に当館の情報が掲載されます  
みなさん、ぜひご覧ください!!

CM情報

毎週月曜日 午前6時52分～6時54分  
AKT秋田テレビの天気予報のバック映像に  
当館の映像が放送されております!  
(8月13日まで)

編・集・後・記

—ミニミニマインズを編集して—

ここに、ミニミニマインズ6月号をお届けします。前号に引き続き今月号も博物館実習生が担当しました。限られたスペースではありますが、写真を多く取り入れたことで博物館の活動の様子を正確で読みやすい記事にまとめることができました。さらに博物館実習での私たちの活動も皆さんに発信することもできました。

このミニミニマインズが博物館に足を運ぶきっかけとなれば幸いです。

作成2班：近藤・須藤・東海林・芳賀・畠山